

【概況】

- 全体として、売上は回復基調にあり、客数・客単価のいずれも改善しており、次期も同様の傾向は継続する見通しとなっている。
- 一方、上期では経営上の問題点として「売上減少」が最多であったが、下期では売上減少を問題とする回答が減少したが、「仕入高騰」、「経費増加」が最大の問題点となっている。
- コロナ渦による影響が低減し、観光客の増加を起点として町内経済に良い影響が生じている中、不測の事態ともいえる物価高騰が懸念材料として浮上した状況にある。
- 売上の増加傾向と比較すると、利益の増加傾向は少ない状況であり、原材料価格の高騰にともなう価格転嫁が十分に進んでいないものと考えられる。消費者に向け価格転嫁の正当性を発信するとともに、下請け取引の適正化を促すための取り組み等を行うことが重要と思われる。
- 資金繰りや借入環境に関して顕著な悪化はみられず、現状では企業経営に深刻な影響が出ている状況にはないといえる。

コロナ渦の終息により、今後も観光客の増加や消費活動の活発化が期待される状況下、経済の基調は堅調に推移すると思われる。

一方、価格高騰による収益悪化に伴う資金繰り悪化が想定されるなど、企業経営に対し注意深く対応していくことが引き続き重要と思われる。

1. 景況

(1) 売上

全業種では増加傾向。次期はさらに改善の見通し。小売・飲食宿泊・サービス業は特に好調

(2) 仕入れ(量)

売上の動向と同様の傾向、全体として増加傾向

(3) 利益

全体としては増加、小売・飲食宿泊は好調であるが、建設業は厳しい状況

(4) 雇用

全体としては横ばい、次期は増加見通し

(5) 資金繰り

全体として資金繰り環境はやや悪化傾向にあるが、次期は改善の見通し

(6) 集客・受注

全体としては増加、次期はさらに増加の見通し

(7) 売上単価

全体としては上昇、次期はさらに上昇の見通し

(8) 借入

全体としては借入環境に悪化はみられず、次期も同様の見通し

(9) 経費

全体として経費は上昇傾向にあり、次期も同様の見通し

## 2. 経営上の問題点

最多は仕入れ高騰(64.1%、上期は45.0%)。

次いで経費増(46.2%、上期は17.5%)、従業員確保(30.8%、上期は33%)が続く。

### 【参考】「増加(等)-減少(等)」 沖縄県、全国のデータについて

- ✓ ※沖縄県の【増加-減少】は、海邦総研「県内景気動向調査(2022年10-12月期)」より類似するデータを引用
- ✓ 全国の【増加-減少】は、中小機構「第170回中小企業景況調査(2022年10-12月期)」より類似するデータを引用

# 1. 景況

## (1) 売上

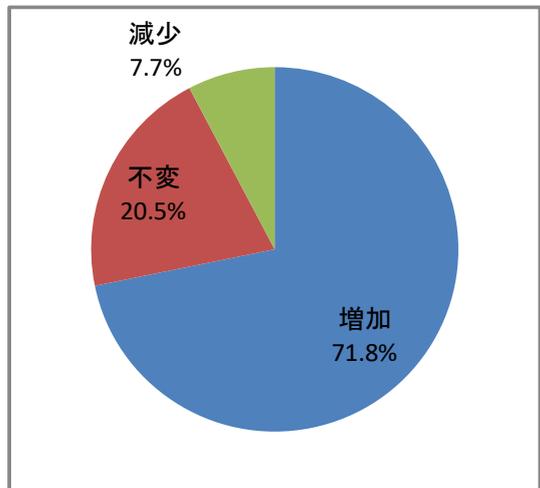
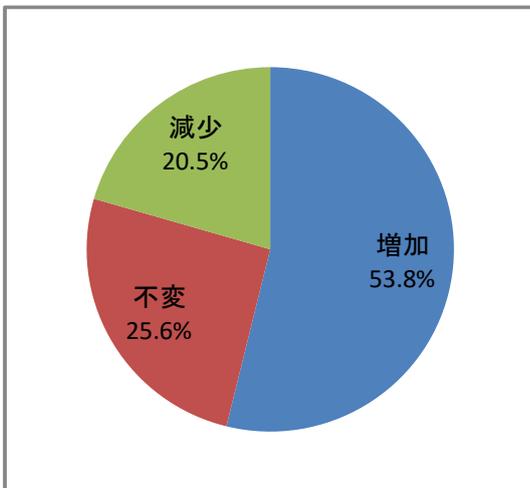
【全業種では増加傾向。次期はさらに改善の見通し。小売・飲食宿泊・サービス業は特に好調】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
21	10	8	1
53.8%	25.6%	20.5%	2.6%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
28	8	3	1
71.8%	20.5%	7.7%	2.6%

R4上期			
増加	不変	減少	無回答
14	11	15	0
35.0%	27.5%	37.5%	0.0%

R4上期			
増加	不変	減少	無回答
21	10	9	0
52.5%	25.0%	22.5%	0.0%



	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	33.3%	22.3%	-16.4%

	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	64.1%	11.5%	—

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	50.0%	50.0%
製造	50.0%	50.0%	0.0%
卸売	50.0%	50.0%	0.0%
小売	66.7%	16.7%	16.7%
飲食宿泊	62.5%	25.0%	12.5%
サービス	66.7%	13.3%	20.0%

	見通し		
	増加	不変	減少
建設	50.0%	50.0%	0.0%
製造	50.0%	50.0%	0.0%
卸売	100.0%	0.0%	0.0%
小売	83.3%	16.7%	0.0%
飲食宿泊	87.5%	0.0%	12.5%
サービス	66.7%	20.0%	13.3%

- 全業種の増加—減少は、33.3%であり、増加傾向。
- 次期は、増加—減少は、64.1%と大幅な増加見通し。
- 沖縄県および全国の傾向と比較すると、沖縄県を上回り、全国を大幅に上回る状況。
- 小売、飲食宿泊、サービス業は、いずれも売上は大幅な増加傾向にあり、次期はさらに改善する見通し。
- 建設業は減少傾向であるが、次期は下げ止まり改善する見通し。

(2) 仕入(量)

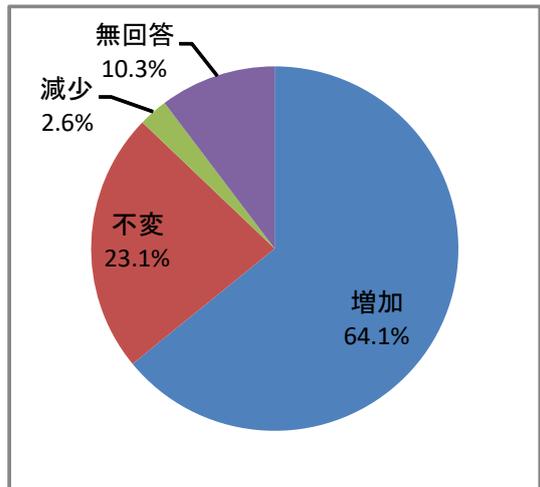
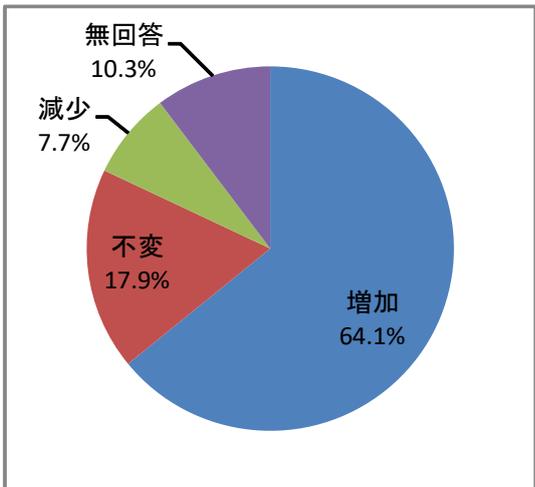
【売上の動向と同様の傾向、全体として増加傾向】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
25	7	3	4
64.1%	17.9%	7.7%	10.3%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
25	9	1	4
64.1%	23.1%	2.6%	10.3%

R4上期			
—	—	—	—
—	—	—	—

R4上期			
—	—	—	—
—	—	—	—



	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	56.4%	—	—

	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	61.5%	—	—

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	50.0%	16.7%	16.7%
製造	100.0%	0.0%	0.0%
卸売	100.0%	0.0%	0.0%
小売	66.7%	0.0%	33.3%
飲食宿泊	62.5%	25.0%	0.0%
サービス	60.0%	26.7%	0.0%

	見通し		
	増加	不変	減少
建設	50.0%	33.3%	0.0%
製造	100.0%	0.0%	0.0%
卸売	100.0%	0.0%	0.0%
小売	83.3%	16.7%	0.0%
飲食宿泊	75.0%	0.0%	12.5%
サービス	46.7%	40.0%	0.0%

- 全業種の増加—減少は、56.4%であり、売上の増加傾向を反映し仕入れ量も増加。
- 次期見通しは、増加—減少が、61.5%であり引き続き増加の見通し。

### (3) 利益

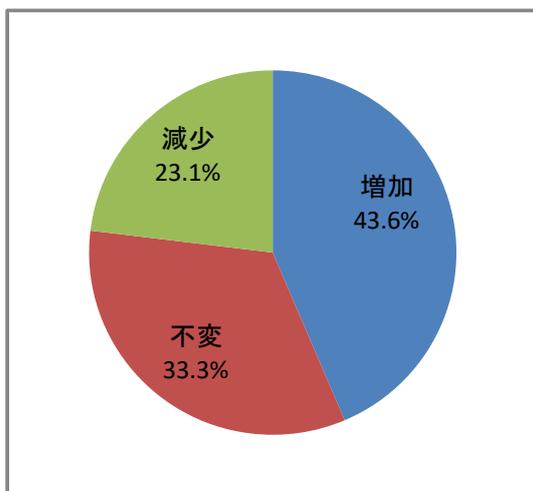
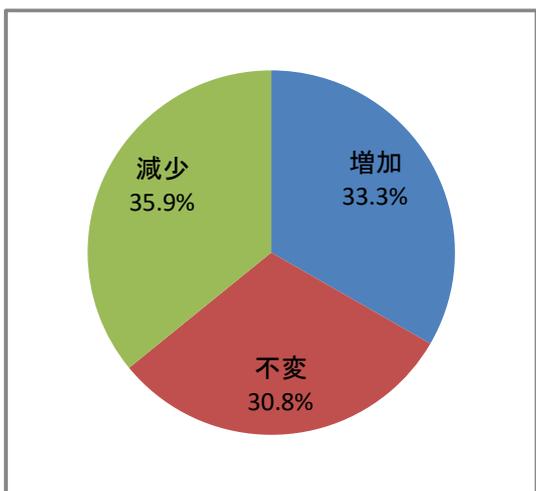
【全体としては増加、小売・飲食宿泊は好調であるが、建設業は厳しい状況】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
13	12	14	0
33.3%	30.8%	35.9%	0.0%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
17	13	9	0
43.6%	33.3%	23.1%	0.0%

R4上期			
増加	不変	減少	無回答
11	15	14	0
27.5%	37.5%	35.0%	0.0%

R4上期			
増加	不変	減少	無回答
16	15	9	0
40.0%	37.5%	22.5%	0.0%



	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	-2.6%	4.4%	-31.3%

	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	20.5%	1.9%	-27.9%

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	50.0%	50.0%
製造	0.0%	100.0%	0.0%
卸売	50.0%	50.0%	0.0%
小売	50.0%	33.3%	16.7%
飲食宿泊	37.5%	0.0%	62.5%
サービス	40.0%	26.7%	33.3%

	見通し		
	増加	不変	減少
建設	50.0%	16.7%	33.3%
製造	50.0%	50.0%	0.0%
卸売	50.0%	50.0%	0.0%
小売	66.7%	33.3%	0.0%
飲食宿泊	50.0%	12.5%	37.5%
サービス	26.7%	46.7%	26.7%

- 全業種の増加—減少は、▲2.6%であり、微減・横這い傾向。
- 次期は、飲食宿泊、増加—減少は、20.5%と改善の見通し。
- 沖縄県および全国の傾向と比較すると、沖縄県をわずかに下回り、全国を大幅に上回る状況。
- 業種別では、建設業が減少傾向にあるが、次期はやや改善の見通し。
- 小売、飲食宿泊、サービス業は、ほぼ横ばい傾向にあるが、次期は改善の見通し。
- 売上は顕著な増加傾向にあるが、明確な利益増加傾向はみられない。

#### (4) 従業員数

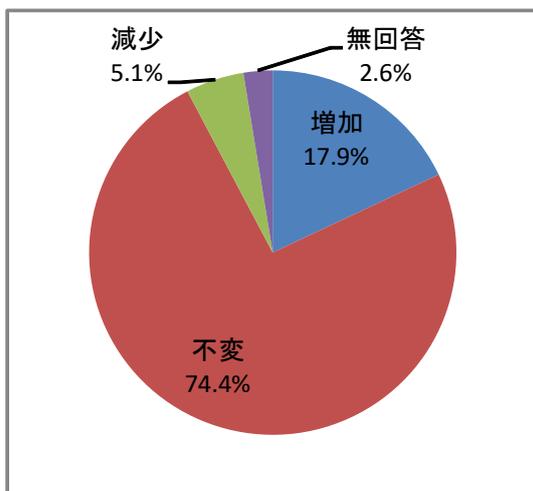
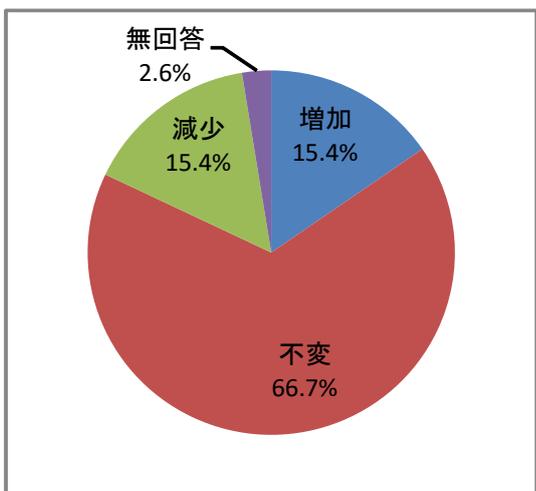
【全体としては横ばい、次期は増加見通し】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
6	26	6	1
15.4%	66.7%	15.4%	2.6%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
7	29	2	1
17.9%	74.4%	5.1%	2.6%

R4上期			
増加	不変	減少	無回答
6	22	11	1
15.0%	55.0%	27.5%	2.5%

R4上期			
増加	不変	減少	無回答
9	23	7	1
22.5%	57.5%	17.5%	2.5%



	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	0.0%	47.0%	-3.7%

	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	12.8%	45.6%	-2.9%

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	33.3%	66.7%
製造	50.0%	50.0%	0.0%
卸売	50.0%	50.0%	0.0%
小売	0.0%	83.3%	0.0%
飲食宿泊	25.0%	62.5%	12.5%
サービス	13.3%	80.0%	6.7%

	見通し		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	100.0%	0.0%
製造	0.0%	100.0%	0.0%
卸売	50.0%	50.0%	0.0%
小売	0.0%	83.3%	0.0%
飲食宿泊	50.0%	37.5%	12.5%
サービス	13.3%	80.0%	6.7%

- 全業種の増加—減少は、0.0%と横ばい。
- 次期は、増加—減少は、12.8%と増加見通し。
- 沖縄県および全国の傾向と比較すると、沖縄県を大幅に下回り、全国を上回る状況。
- 業種別では、建設業が減少しているが、次期は増加する見通し。
- 小売・飲食・宿泊はほぼ横ばいであるが、次期は増加見通し。
- 全体として、売上の増加傾向に対して従業員の増加傾向は低い。

(5) 資金繰り

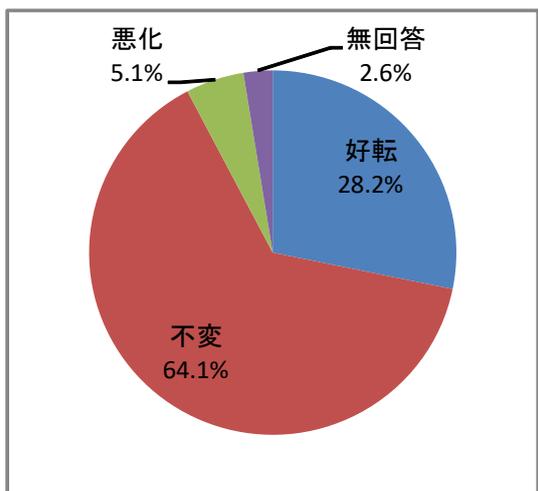
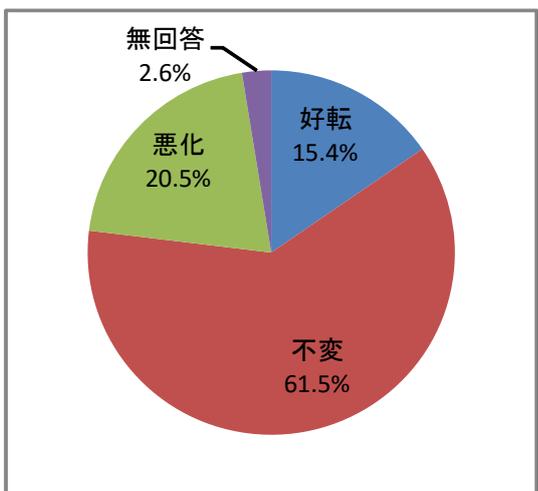
【全体として資金繰り環境はやや悪化傾向にあるが、次期は改善の見通し】

前年比			
好転	不変	悪化	無回答
6	24	8	1
15.4%	61.5%	20.5%	2.6%

見通し			
好転	不変	悪化	無回答
11	25	2	1
28.2%	64.1%	5.1%	2.6%

R4上期			
好転	不変	悪化	無回答
7	27	6	0
17.5%	67.5%	15.0%	0.0%

R4上期			
好転	不変	悪化	無回答
7	27	6	0
17.5%	67.5%	15.0%	0.0%



	北谷町	沖縄県	全国
好転-悪化	-5.1%	—	—

	北谷町	沖縄県	全国
好転-悪化	23.1%	—	—

	前年比		
	好転	不変	悪化
建設	0.0%	33.3%	50.0%
製造	0.0%	50.0%	50.0%
卸売	50.0%	50.0%	0.0%
小売	33.3%	66.7%	0.0%
飲食宿泊	25.0%	62.5%	12.5%
サービス	6.7%	73.3%	20.0%

	見通し		
	好転	不変	悪化
建設	33.3%	50.0%	0.0%
製造	0.0%	100.0%	0.0%
卸売	50.0%	50.0%	0.0%
小売	33.3%	66.7%	0.0%
飲食宿泊	25.0%	62.5%	12.5%
サービス	26.7%	66.7%	6.7%

- 全業種の好転—悪化は、▲5.1%であり、やや悪化状況といえる。
- 次期は、好転—悪化は、23.1%であり改善の見通し。
- 業種別では、建設業が悪化傾向にあるが、次期は改善の見通し。
- 小売・飲食・宿泊は改善傾向にあり時期も同様。

(6) 集客・受注

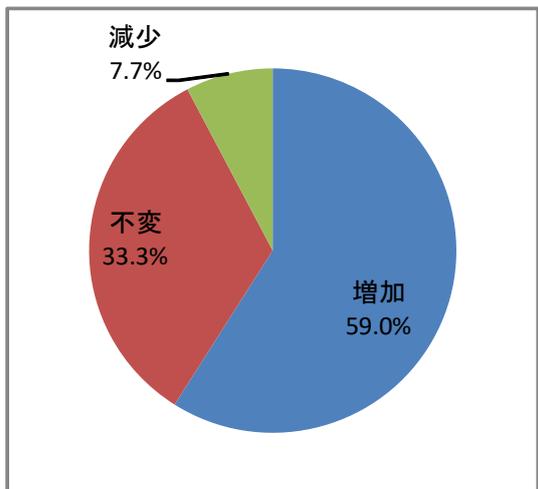
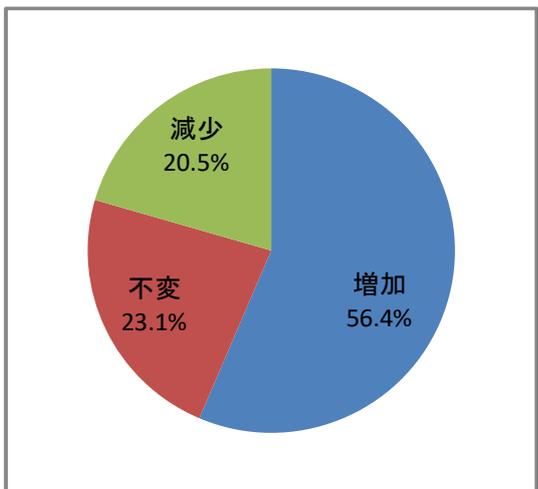
【全体としては増加、次期はさらに増加の見通し】

前年比			
増加	不変	減少	無回答
22	9	8	0
56.4%	23.1%	20.5%	0.0%

見通し			
増加	不変	減少	無回答
23	13	3	0
59.0%	33.3%	7.7%	0.0%

R4上期			
増加	不変	減少	無回答
20	5	15	0
50.0%	12.5%	37.5%	0.0%

R4上期			
増加	不変	減少	無回答
25	9	6	0
62.5%	22.5%	15.0%	0.0%



	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	35.9%	—	—

	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	51.3%	—	—

	前年比		
	増加	不変	減少
建設	0.0%	50.0%	50.0%
製造	50.0%	50.0%	0.0%
卸売	50.0%	0.0%	50.0%
小売	83.3%	0.0%	16.7%
飲食宿泊	50.0%	37.5%	12.5%
サービス	73.3%	13.3%	13.3%

	見通し		
	増加	不変	減少
建設	33.3%	50.0%	16.7%
製造	50.0%	50.0%	0.0%
卸売	100.0%	0.0%	0.0%
小売	66.7%	33.3%	0.0%
飲食宿泊	75.0%	12.5%	12.5%
サービス	53.3%	40.0%	6.7%

- 全業種の増加—減少は、35.9%であり、増加傾向。
- 次期は、増加—減少は、51.3%であり、さらに改善の見通し。
- 業種別では建設業が減少傾向であるが、次期は改善の見通し。

(7) 売上単価

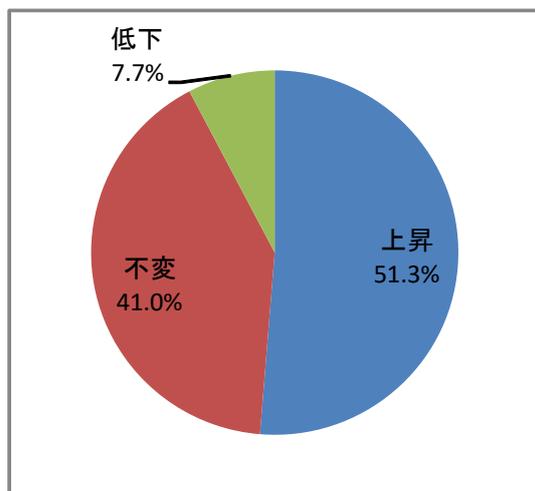
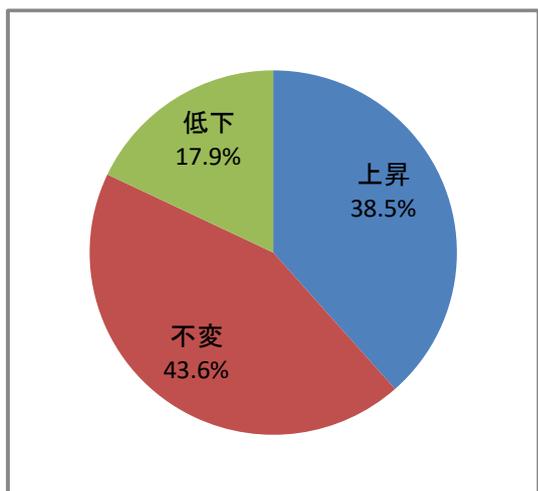
【全体としては上昇、次期はさらに上昇の見通し】

前年比			
上昇	不変	低下	無回答
15	17	7	0
38.5%	43.6%	17.9%	0.0%

見通し			
上昇	不変	低下	無回答
20	16	3	0
51.3%	41.0%	7.7%	0.0%

R4上期			
上昇	不変	低下	無回答
12	18	9	1
30.0%	45.0%	22.5%	2.5%

R4上期			
上昇	不変	低下	無回答
16	15	8	1
40.0%	37.5%	20.0%	2.5%



	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	20.5%	—	—

	北谷町	沖縄県	全国
増加-減少	43.6%	—	—

	前年比		
	上昇	不変	低下
建設	16.7%	33.3%	50.0%
製造	50.0%	50.0%	0.0%
卸売	0.0%	100.0%	0.0%
小売	50.0%	16.7%	33.3%
飲食宿泊	62.5%	25.0%	12.5%
サービス	33.3%	60.0%	6.7%

	見通し		
	上昇	不変	低下
建設	33.3%	33.3%	33.3%
製造	0.0%	100.0%	0.0%
卸売	0.0%	100.0%	0.0%
小売	66.7%	33.3%	0.0%
飲食宿泊	87.5%	0.0%	12.5%
サービス	46.7%	53.3%	0.0%

- 全業種の上昇—低下は、20.5%であり、上昇傾向。
- 次期上昇—低下は、43.6%であり、さらに上昇の見通し。
- 業種別では、建設業で低下傾向があるが、次期は改善の見通し。
- 小売、飲食宿泊、サービス業は、いずれも上昇傾向にあり、次期はさらに上昇する見通し。

(8) 借入

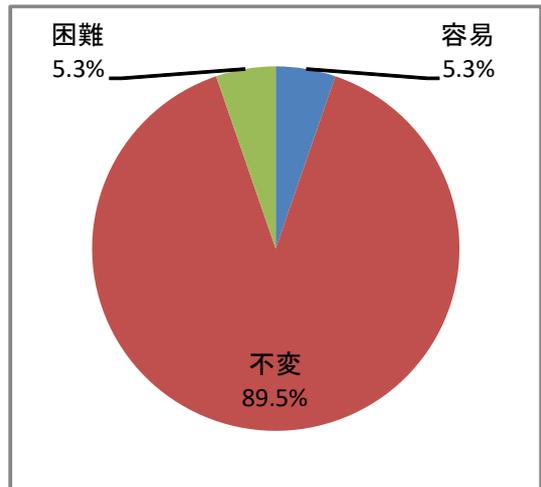
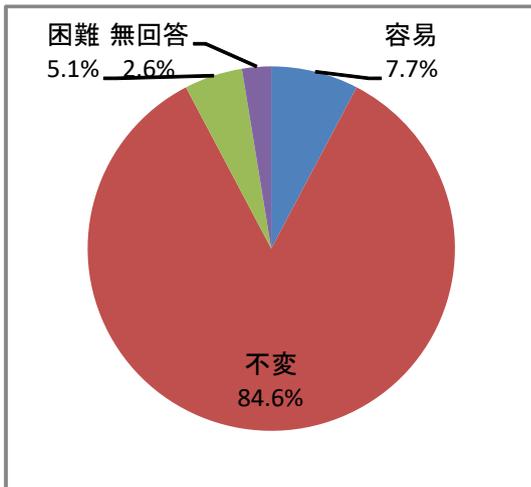
【全体としては借入環境に悪化はみられず、次期も同様の見通し】

前年比			
容易	不変	困難	無回答
3	33	2	1
7.7%	84.6%	5.1%	2.6%

見通し			
容易	不変	困難	無回答
2	34	2	
5.1%	87.2%	5.1%	0.0%

R4上期			
—	—	—	—
—	—	—	—

R4上期			
—	—	—	—
—	—	—	—



	北谷町	沖縄県	全国
容易-困難	2.6%	—	—

	北谷町	沖縄県	全国
容易-困難	0.0%	—	—

	前年比		
	容易	不変	困難
建設	0.0%	50.0%	33.3%
製造	0.0%	100.0%	0.0%
卸売	0.0%	100.0%	0.0%
小売	16.7%	83.3%	0.0%
飲食宿泊	12.5%	87.5%	0.0%
サービス	6.7%	93.3%	0.0%

	見通し		
	容易	不変	困難
建設	0.0%	66.7%	16.7%
製造	0.0%	100.0%	0.0%
卸売	0.0%	100.0%	0.0%
小売	0.0%	100.0%	0.0%
飲食宿泊	12.5%	75.0%	12.5%
サービス	6.7%	93.3%	0.0%

- 全業種の容易—困難は2.6%であり、借入環境に変化はみられない。
- 次期は容易—困難は0.0%であり、同様の傾向が継続する見通し。

(9) 経費

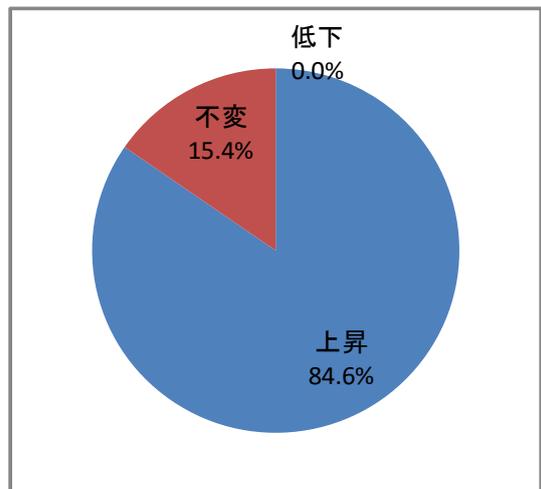
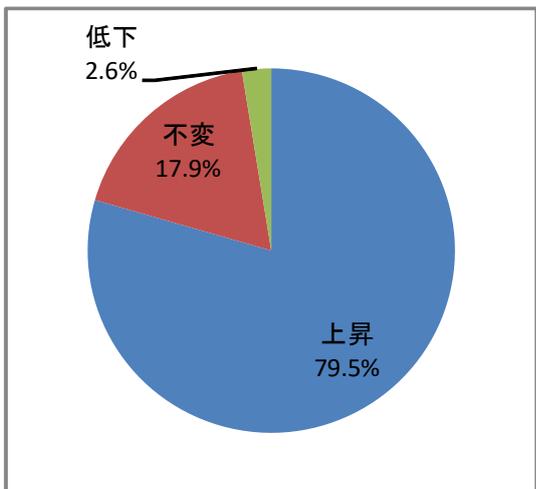
【全体として経費は上昇傾向にあり、次期も同様の見通し】

前年比			
上昇	不変	低下	無回答
31	7	1	0
79.5%	17.9%	2.6%	0.0%

見通し			
上昇	不変	低下	無回答
33	6	0	0
84.6%	15.4%	0.0%	0.0%

R4上期			
—	—	—	—
—	—	—	—

R4上期			
—	—	—	—
—	—	—	—



	北谷町	沖縄県	全国
上昇-低下	76.9%	—	—

	北谷町	沖縄県	全国
上昇-低下	84.6%	—	—

	前年比		
	上昇	不変	低下
建設	66.7%	16.7%	16.7%
製造	100.0%	0.0%	0.0%
卸売	100.0%	0.0%	0.0%
小売	50.0%	50.0%	0.0%
飲食宿泊	100.0%	0.0%	0.0%
サービス	80.0%	20.0%	0.0%

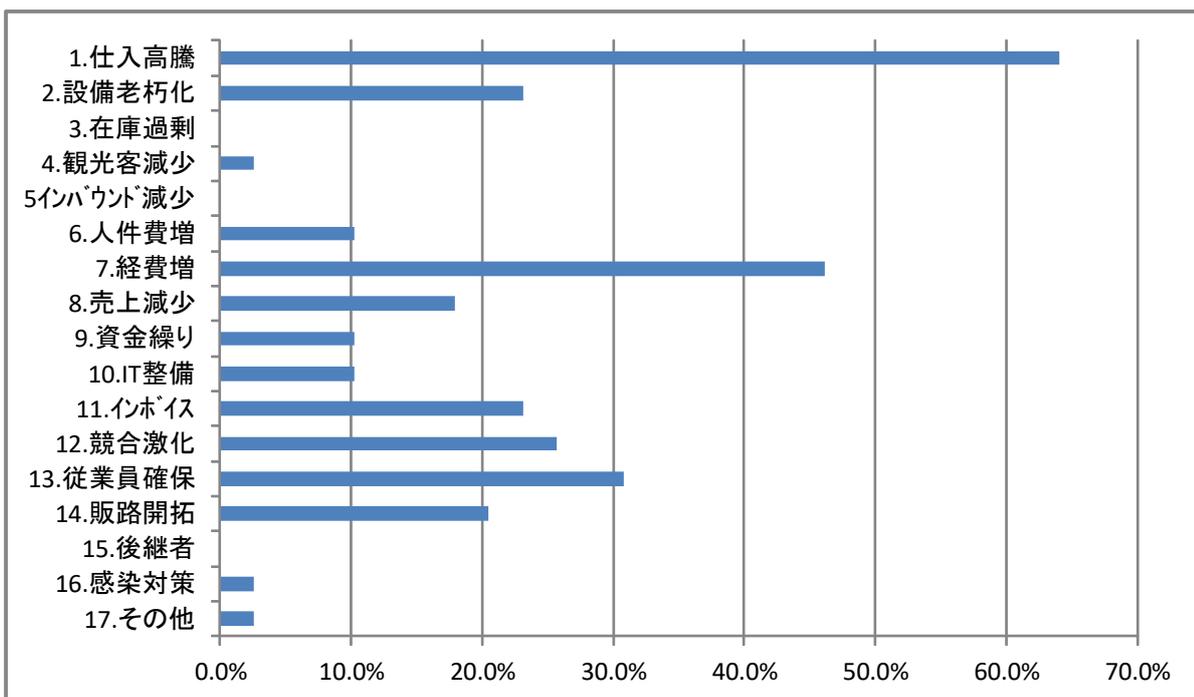
	見通し		
	上昇	不変	低下
建設	66.7%	33.3%	0.0%
製造	100.0%	0.0%	0.0%
卸売	100.0%	0.0%	0.0%
小売	83.3%	16.7%	0.0%
飲食宿泊	100.0%	0.0%	0.0%
サービス	80.0%	20.0%	0.0%

- 全業種の上昇—低下は76.9%であり、定価とする回答は非常に少ない。
- 次期は上昇—低下は84.6%であり、経費上昇傾向は継続する見通し。

## 2. 経営上の問題点

1.仕入高騰	2.設備老朽化	3.在庫過剰	4.観光客減少	5.インバウンド減少	6.人件費増	7.経費増	8.売上減少	9.資金繰り
25	9	0	1	0	4	18	7	4
64.1%	23.1%	0.0%	2.6%	0.0%	10.3%	46.2%	17.9%	10.3%

10.IT整備	11.インボイス	12.競合激化	13.従業員確保	14.販路開拓	15.後継者	16.感染対策	17.その他
4	9	10	12	8		1	1
10.3%	23.1%	25.6%	30.8%	20.5%	0.0%	2.6%	2.6%



- 最多は仕入れ高騰(64.1%、上期は45.0%)、次いで経費増(46.2%、上期は17.5%)、従業員確保(30.8%、上期は33%)が続く。
- 上期では、売上減少(50%)、仕入れ高騰(45%)、人材不足(45%)、需要停滞(33%)、従業員確保(33%)の順であった。
- 上期では売上減少が最大の問題であったが、下期では売上減少は17.9%に低下した一方で、仕入れや経費の高騰が大きな問題点となっている。